

農業科がメロンの人工授粉を行いました。

平成23年9月8日(木)



メロンには、雄花と雌花があります。雄花を取って、その花粉を雌花に付ける作業をしていました。摘果して1株1個のメロンを栽培します。(下)米ナスに液肥(魚を腐らせて得たアミノ酸系)をやる。





路地畑にもメロンが植えてあり、グラスファイバーを使って、ビニールで覆う作業をしていました。温室の中のメロンは吊り下げられますが、露地栽培は地面の上に行うことができます。



田の土を春ものの苗を作る時の土にするために、大きな土の塊を小さくしたり、土を少し乾燥させたりするために、スコップで掘り返していました。一生懸命な姿が、とても爽やかでした。



トマトの苗をポットに植え替える作業をしていました。収穫は12月頃になるそうです。



メロンをつりさげるための準備をしていました。教えてもらって、丁寧に作業していました。農業科のみんなは、蒸し暑い温室の中でも、笑顔で真剣に取り組んでおり、好感が持てました。植物を栽培するには、手間暇がかかるようですが、育てる喜び、収穫の喜びも味わえるのは羨ましい。